

～日々の支援に活かせる認知症関連情報～

区では、令和2年10月に「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」を施行し、認知症になってからも安心して暮らせるまちの実現を目指して、様々な取組みを進めております。

条例の基本理念の実現に向けて、皆様にご協力いただきたいこと

世田谷区認知症とともに生きる希望条例

- 本人が自宅、病院、施設など、どこで暮らしていても、
一人ひとりの希望と権利・人権を大切にする。
- 本人が必要なときに必要な支援を受けられるよう、
関係者同士や地域とのつながりを深める。
- **本人の思いや希望を丁寧に聞き取り、ケアプランや支援につなげる。**
- 認知症になっても地域とのつながりを大切に、**本人同士がつながり、
役割を持って過ごせるよう社会参加を支える。**
- 本人と家族が自分たちに合った支援を選べるよう、
必要な情報を分かりやすく伝える。



区ホームページ

[【こちらをクリック】](#)



もの忘れや認知症のある方、そのご家族にお渡しください!

認知症あんしんガイドブック(認知症ケアパス付き)

- 認知症について知りたい方、認知症かもしれないと思っている方、
認知症と診断された方やそのご家族などに向けて、認知症に
関する様々な情報を掲載している3冊構成の冊子です。
- あんしんすこやかセンター等で配布をしているほか、
区ホームページおよび世田谷区認知症在宅生活サポートセンター
のホームページに掲載しています。

世田谷区認知症
在宅生活サポートセンター
ホームページ
[【こちらをクリック】](#)



日本版BPSDケアプログラム

本人の行動・心理症状(BPSD)は、「困った行動」ではなく、「本人からのメッセージ」として読み解く

- 認知症ケアの質の向上のための取組みを推進する人材を養成するとともに、
行動・心理症状(BPSD)を「見える化」するオンラインシステムを活用し、
ケアに関わる担当者の情報共有や一貫したケアの提供をサポートするプログラムです。
- 本人の思いや背景を理解し、本人に合った支援につなげます。
- 本人の「困った行動」は環境や関わり方の工夫により軽減できることがあります。
- 区では本プログラムを利用するための研修を年に2回開催しています。
ぜひご受講ください!



区ホームページ

[【こちらをクリック】](#)

認知症とともに生きる、支え合う 取組み

ひとりでも多くの人が、地域でつながり、自分らしく暮らし続けられるよう、地域で様々な取組みが始まっています。

世田谷区認知症在宅生活サポートセンターのホームページでは、

- ・認知症の基礎知識
- ・本人・家族支援
- ・地域の新しい取組み
- ・イベント情報

など、さまざまな情報を発信しています。ぜひ一度ご覧ください！



世田谷区認知症
在宅生活サポートセンター
ホームページ
[【こちらをクリック】](#)

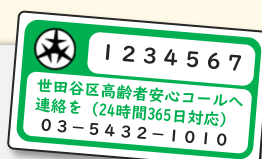
認知症高齢者の行方不明への対応と備え

- ・認知症の方が行方不明になった際は、速やかに110番通報をしてください。
- ・次に、高齢者安心コール（電話：03-5432-1010）へご連絡ください。状況をお伺いし、ご希望に応じて地域の協力者や近隣自治体等へ情報提供を行います。



安心して外出をするために…

「高齢者見守りステッカー」の利用や
GPS等の便利な機器を活用しましょう。



「高齢者見守りステッカー」
見本

※介護サービス事業所利用中の行方不明事案が複数発生しております。
今一度、各施設内における行方不明への対策について、ご確認をお願いいたします。



区ホームページ
[【こちらをクリック】](#)



あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）にご相談ください！

あんしんすこやかセンターは、認知症に関する相談を含む、福祉に関する身近な相談窓口です。

あんしんすこやかセンターが開催するケアマネジャー連絡会等での情報共有や、対応に迷うケースについてのご相談もお受けしています。

お気軽にご相談ください！



あんしんすこやかセンター一覧
（区ホームページ）
[【こちらをクリック】](#)

